

特集 読書感想文おすすめ本

キラリ作家★ 長野まゆみ

応援します！ 2013 長崎しおかぜ総文祭

WAKABA

10代のためのくとしょかんだより>

[わかば] VOL.40
6-7/2013

長崎市長図書館

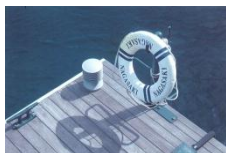
☆WAKABAの表紙写真を募集します☆

昨年度、たくさんの応募があった WAKABA の表紙写真を今年も募集します！あなたの撮った写真が WAKABA の表紙を飾っちゃうかも♪

来年の3月頃には写真展を開催し、応募作品を展示する予定です。

夏期の個人向け募集期間は **7月20日(土)から8月31日(土)まで**です。7月20日(土)から、図書館のホームページに募集要項と応募用紙をアップします。

☆今月号の表紙☆



撮影：長崎県立長崎東高等学校 写真部

テーマ：日常

撮影者コメント：

水辺の森公園で撮影しました。海の青色が夏らしくていいな、と思ったので、応募しました。長崎にも夏が来ましたね。

#YAコーナーからお知らせ#

6~8月特集展示テーマ「読書感想文おすすめ本」

読書感想文は、必ずしも課題図書について書く必要はありません！自分の好きな本で書いてもOKです。

図書館おすすめの本を集めたので、本選びに迷ったら、この展示でお気に入りを見つけてください☆

6~8月投稿テーマ「Bookmarker コンテスト」

オリジナルのしおりを

デザインしてね☆

優秀作品は図書館で

印刷して配布します！

2012年のしおりです



編集後記

海が恋しい季節になってきました。今回の表紙はさわやかな水辺の写真です。

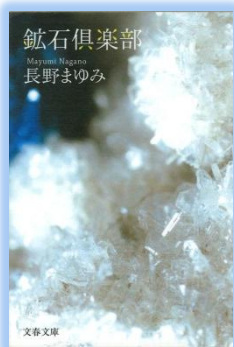
遊びに勉強に、おもいっきり夏を満喫してね！

「WAKABA」第40号 [YA通信/2013/6-7月号]
表紙の写真：長崎県立長崎東高等学校 写真部 撮影
発行：YA編集部 Nagasaki City Library, 2013

キラリ作家☆

長野 まゆみ

東京生まれ。1988年『少年アリス』で文藝賞受賞。鉱石や天体、少年をモチーフにした幻想的な作品を多数発表。古風な文体で、非現実的な名前をもつ少年たちのゆらめく世界を描いています。



『鉱石倶楽部』 文藝春秋 B/913.6/ナガ

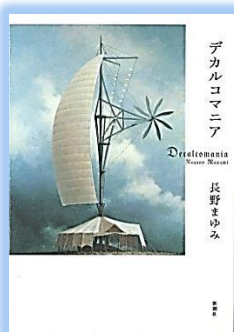
放課後の理科教室で、少年たちは奇妙な図鑑を使った鉱物の授業を受ける。それはまるで、菓子や果物についての講義のようだった。紫水晶、白雲母、月長石など、さまざまな石から生まれた18の物語。



『兄弟天気図』 河出書房新社 Y/913.6/ナガ

「ぼく」は三人兄弟の末っ子。けど、兄さんと姉さんの間には、6歳で死んだもう一人の兄さんがいた。

キリリンコロンの音とともに、ぼくらの前にあらわれる兄さんそっくりの少年は、いったい誰…？



『デカルコマニア』 新潮社 F/913.6/ナガ

少年が図書室で見つけた革装の古書『デカルコマニア』。それには奇妙な文字で、未来についての物語が綴られていた。

過去と未来が複雑に絡み合い、謎が謎を呼ぶ、不思議で美しいおはなし。

読書感想文おすすめ本



『青い鳥文庫が
できるまで』

岩貞 るみこ/作 講談社
児童/020/イ



『パーシー・ジャクソンと
オリンポスの神々』

リック・リオーダン/作
ほるぷ出版
Y/933.7/リ



作家、編集者、イラストレーター、印刷会社など、1冊の本を作り出すために奮闘する人々の姿を、4ヶ月におよぶ取材をもとに描いた臨場感あふれるストーリー！本の裏側、のぞいてみませんか？

パーシーは学校の問題児としていつも目を付けられていた。でも、それはパーシーの父親に大きな理由があって…。ギリシャ神話を現代テイストで書き下ろした作品で、読みやすく面白！ギリシャ神話にも興味があでてるかも。

『青い鳥』

重松 清/著 新潮社
F/913.6/シゲ



『ラテに感謝！』

マイケル・ゲイツ・ギル/著
月沢 李歌子/訳
ダイヤモンド社
M/936/ギ



村内先生は、中学の非常勤講師。国語を教える立場なのに言葉がつかえて、うまく話せない。でも、先生はひとりぼっちの心に寄り添い授業よりもたいせつなことを教えてくれる。優しいきもちで満たされます。

アメリカのエリート階級に属していた著者が、突然リストラにあう。職探しの途中、あるコーヒーショップに入ると…。
“人生で大切なものはなんだろう？”
“働く”ことの意義を見つける、本当にあった物語。

応援
します！

第 37 回 全国高等学校総合文化祭 2013 長崎しおかぜ総文祭

7月31日(水)から8月4日(日)に、文化部版のインターハイとも言われる「2013 長崎しおかぜ総文祭」が県内各地で開催されます。

全国の約2万人の高校生が集まり、ステージ発表・作品展示・対局を行います。パレードなど自由に見学できるものもあるので、みんなもぜひ足を運んでね☆

黄色の部門は会場が長崎市内にあります。くわしい内容は、公式HPでご確認ください。

規定部門 (19 部門) ※全国共通で毎年開催されている部門

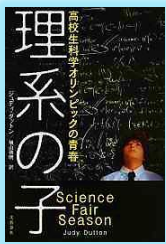
演劇/合唱/吹奏楽/器楽・管弦楽/日本音楽/吟詠剣詩舞/郷土芸能/マーチングバンド・バトントワリング
/美術・工芸/書道/写真/放送/囲碁/将棋/弁論/小倉百人一首かるた/新聞/文芸/自然科学

協賛部門 (5 部門) ※長崎しおかぜ総文祭で特別に取り上げる部門

高校生文化祭サミット/特別支援学校/図書/JRC・ボランティア/郷土研究

文化部がいま
アツい！

活躍しているのは、運動部だけじゃない！
今回は文化系の活動を題材にした本を紹介します。
これを読めば、あなたも総合文化祭の会場に足を運んで応援したくなるかも！？



『幕が上がる』

平田 オリザ/著 講談社 Y/913.6/ヒラ

いつも第一関門の地区大会で敗れてしまう演劇部に、不完全燃焼だったさおり。学生演劇経験のある吉岡先生の指導をきっかけに、高校生活最後の1年を演劇と真剣に向き合います。

『理系の子 高校生科学オリンピックの青春』

ジュディ・ダットン/著 横山 啓明/訳

文藝春秋 Y/407/ダ

高校生の科学オリンピック「インテル国際学生科学フェア」に参加した高校生たちの実話。

理系少年少女が体当たりで研究しています。

『アート少女 根岸節子とゆかいな仲間たち』

花形 みつる/著 ポプラ社 Y/913.6/ハ

実力派の先輩が卒業してしまい、廃部の危機にさらされる美術部。根岸節子とゆかいな仲間たちが、美術部存続をかけて駆け回ります。